

誰もがいきいきと暮らすために ワクドキフォーラム開催

11月23日、年齢・職業・活動分野を問わず多くの女性がつながり、新たな行動に向けた1歩を踏み出す機会にするため、「たんばの女性“Waku × Doki”フォーラム」が開催されました。話したいテーマごとにグループに分かれ、それぞれの思いや活動内容を話し合った参加者は「新たな人と知り合えて嬉しかった。新しいことに取り組むきっかけになった」と話しました。



テーブルトークで自己紹介する参加者たち

SNSで市の魅力を発信したい！ ニューメディアマスター講座を開催

11月10日・11日、ライフピアいちじまで、60歳以上の市民を対象に、FacebookなどのSNSの使い方を学んで市の魅力発信や農産物の販売促進に役立ててもらおうと「シティプロモーション・ニューメディアマスター講座」が開催されました。現役大学生6人が講師となり、マンツーマンで操作を指導。参加者は「SNSに対する不安が解消できた。黒大豆のおいしさを発信したい」と話しました。



学生から投稿方法を学ぶ参加者たち

にっぽん恐竜協議会 第1回総会を開催



総会であいさつをする谷口市長

12月2日、市役所山南支所で、「にっぽん恐竜協議会」の第1回総会が開催されました。総会では、これまでの加盟自治体（丹波市・篠山市・北海道むかわ町・熊本県御船町）に新たに群馬県神流町かんなまが加わることが承認されました。

また、外国人観光客にPRするため、英語表記を「ジャパン・ダイナソー・コミュニティ」（略称『J D C』）に決め、協力して恐竜を核にした地域づくりを進めることを確認しました。

子育てを楽しめる社会をめざして 心を育む講演会・座談会を開催



講師の辻由起子さんを囲んだ座談会

11月10日、11月の児童虐待防止推進月間に合わせて、心を育む講演会と座談会が開催されました。会場には合計235人が来場し、忙しい子育て中に親子でほっとするような時間を共有しました。

また、こども服交換会とこども食堂が同時開催され、子育て世代に寄り添う取り組みに参加者の笑顔があふれていました。

愛育班活動をご視察 秋篠宮妃殿下が来丹！

11月14日、秋篠宮妃殿下が県の母子愛育班活動のご視察のため、氷上保健センターを訪問されました。秋篠宮妃殿下は2010年から恩賜財団母子愛育会の総裁として、毎年国内各地の愛育班活動を視察されており、県内初の愛育班が旧山南町で誕生したことなどからこのたび来丹。皇族の公式訪問は丹波市発足後初めてのことで、地域のみなさんで歓迎しました。

秋篠宮妃殿下は、県内愛育班の活動状況を聞くなどされた後、プレイルームをご視察。市の愛育班が子育て情報の交換などのために開いている親子調理実習で「ちーたんおにぎり」をつくる様子をご覧になりました。山南町上滝から親子で参加した吉竹美津子さんは「子どもたちがおにぎりをつくる手助けをしていただいた。子どもたちが活発に動くようになると大変ではないですか、と優しく声をかけて下さり、大変嬉しかった。子どもの数が減ってきている中、愛育会の活動で横のつながりもできる。活動の励みになりました」と話しました。



調理実習に参加した親子と談笑される秋篠宮妃殿下



秋篠宮妃殿下のご到着を歓迎する地域のみなさん

秋の叙勲 瑞宝単光章 方山さんが受章を報告

11月16日、秋の叙勲で瑞宝単光章に選ばれた認定こども園わだ副園長の方山さがみさんが市役所を訪れ、谷口市長に受章を報告しました。方山さんは1981年から保育士として勤め、今年で保育一筋37年。児童福祉に長年携わった経験が評価されました。方山さんは「叙勲は私にはもったいないという気持ち。市の保育が繁栄するよう、これからも頑張りたい」と話しました。



勲記を手に笑顔の方山さん（写真右）

移動型の子ども食堂 どんぐり食堂を開催



家族で食事を楽しむ参加者

11月28日、春日地域のゆめの樹で、子どもも大人も誰でも集まれる移動型の食堂「どんぐり食堂」が開催されました。どんぐり食堂は、食事を通して家庭と地域がつながり、子どもたちを見守る場を作りたいという思いで、今年3回市内の飲食店を借りて実施されます。

参加者は「季節の野菜が使われていておいしい。子ども達も喜んで食べました」と話しました。